

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度(平成31年度)	科目名	広告デザイン実習3	
科目基礎情報					
開設学科	グラフィックデザイン科	コース名		開設期	前期
対象年次	3年次	科目区分	選択	時間数	120時間
単位数	4単位	授業形態	実習		
教科書/教材	参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。				
担当教員情報					
担当教員	柳原 文二	実務経験の有無・職種	有・グラフィックデザイナー、アートディレクター		
学習目的					
<p>広告デザインに必要な思考力と表現力の向上を目的としている。表現においてより論理的な思考に基づいて考えることができるようになるために実践課題による修練を行う。同時に、より人の機微に触れることのできる訴求力のあるデザインを制作できるようになるために、各々が持つ魅力のある表現や興味を持った新しい表現を身につけることができるようにしていく。新しいデザインの定着方法を身につけ制作物によって効果的な表現を選択する能力を養っていく。</p>					
到達目標					
<p>これまでよりも論理的な思考に基づいて課題を捉えながら、個性を活かして制作・定着作業が行えるようになること。課題について興味を持って十分に熟考することができること。自ら完成目標を高く設定し必要な作業スケジュールを考え、適切な表現は何かを考えて柔軟に制作することができるようになること。新しい定着表現を学習し実践できるようになること。</p>					
教育方法等					
授業概要	<p>広告デザインの実習として、広告するための商品のダミーづくり、ポスター、販促ツール、のデザイン制作を行う。また、前述の課題に並行して新しい特殊印刷表現を学ぶワークショップを実施する。特殊印刷表現は、カッティングプロッターを使用したラバープリントとサインデザイン、スクリーン製版機を使用したスクリーン印刷表現を学ぶ予定である。</p>				
注意点	<p>一年後の社会生活を意識した振る舞いを意識すること。著しくマナーに反した言葉や行動には注意を行う。この授業をいち授業と捉えることなく積極的に利用して自らのために前向きなことを積み重ね研鑽していくこと。授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーションの実施ならびに評価を受けることができない。</p>				
評価方法	種別	割合	備 考		
	課題完成点	38%	提出課題の完成度を評価する		
	リサーチ	8%	制作準備と過程を評価する		
	目標設定	8%	意欲ある目標を設定することができるか、目的の理解、明確性を評価する		
	発表	8%	制作物の発表方法、内容について評価する		
	平常点	38%	授業時の積極性、出欠遅刻の状況、授業態度によって評価する		
授業計画(1回～15回)					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	オリエンテーション／『Advertising Design ①_撮影商品の制作』検討・ラフデザイン／特殊印刷ワークショップ	新しいデザインの定着表現を身につけることができる			
2回	Advertising design① デザイン制作	課題の最終の完成度を高く目標設定できるようになる			
3回	Advertising design ① コンセプトボード発表／特殊印刷ワークショップ	自らの計画を適切に伝えることができる			
4回	Advertising design ① ブラッシュアップ	デザインを柔軟に捉え訴求力のあるデザインに変化させていくことができるようになる			
5回	Advertising design ① 定着作業	定着作業を計画的かつ慎重に行うことができる			
6回	Advertising design ① 講評／次回課題の検討	制作物の魅力を不足なく伝え、より効果的に魅せる工夫ができるようになる			
7回	Advertising design ② 『キービジュアルデザイン&ポスターデザイン』検討・ラフデザイン	与えられた時間の中で十分な検討を行えるようになる			
8回	Advertising design ② デザイン制作／撮影	広告対象を魅力的に演出することができるようになる			
9回	Advertising design ② ブラッシュアップ	時間を有効に使いデザインの精度を向上させることができるようになる			
10回	Advertising design ② 定着作業	表現の定着を計画通りにコントロールすることができるようになる			
11回	Advertising design ② 講評／次回課題の検討	ごまかしくなく作品が完成し、見聞きする人の機微に触れる真摯なプレゼンテーションが行えること			
12回	『Advertising Design ③_販促ツールの計画・デザイン』ラフデザイン／特殊印刷ワークショップ	自らの企画に対して積極的な提案が行えるようになる			
13回	Advertising design ③ デザイン制作	積極的に新しい表現に取り組むことができる			
14回	Advertising design ③ ブラッシュアップ	自身の作品を客観的に捉え作業を継続的に行うことができるようになる(=作品の魅力を自ら向上させていくことができるようになる)			
15回	Advertising design ③ 定着作業／講評	それぞれの初動の目標に沿って、作品に十分な完成度を持たせることができるようになる			